

研究課題名	Massive Transfusion Protocol 発動症例における臨床的特徴、転帰および輸血製剤返却・廃棄の実態に関する後方視的観察研究
研究期間	2026年4月8日～2028年3月31日
研究の対象	2020年4月1日～2025年3月31日の間に、広島大学病院に救急搬送され、大量輸血された（Massive Transfusion Protocol（MTP）が発動された）患者さん
研究の目的・方法	<p>研究目的：</p> <p>大量出血症例に対して実施される Massive Transfusion Protocol（MTP）は救命率向上に寄与することが知られています。しかし、MTP 発動症例の臨床的特徴や転帰との関連、また輸血製剤の返却・廃棄の実態については十分な検討がなされていません。本研究では、当院で MTP が発動された症例を対象に、臨床的特徴、転帰（生存・死亡）との関連、輸血製剤の返却・廃棄の実態を明らかにすることを目的としています。</p> <p>研究方法：</p> <p>診療録（カルテ）および輸血管理システムに保存されている既存の診療情報を用いて後方視的に解析します。本研究のために新たな検査や採血などを行うことはありません。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢 ・性別 ・受傷機転 ・診療科 ・バイタルサイン（血圧、心拍数、体温、呼吸数、SpO₂） ・検査所見（Hb、血小板数、PT-INR、APTT、フィブリノゲン、乳酸、BE、Ca⁺） ・重症度スコア（GCS、JCS、SOFA、APACHE II、ISS） ・輸血関連情報（輸血開始までの時間、輸血量、輸血比率など） ・外科的治療や IVR の有無 ・ICU 滞在日数、在院日数、転帰 ・輸血製剤の返却・廃棄の有無および理由 <p>※本研究では新たに試料（血液など）を採取することはありません。</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学病院輸血部 助教 山崎 尚也</p>
利用または提供を開始する予定日	2026年4月8日（実施許可日以降）
個人情報の保護	<p>得られた情報から氏名・生年月日・住所など個人を直接識別できる情報を削除し、研究用の番号を付けて管理します。個人と研究番号を結びつける対応表は研究責任者が厳重に管理します。研究結果を学会発表や論文として公表する場合も、個人が特定されることはありません。</p>

外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	<p>本学の研究責任者 ○広島大学病院 輸血部 助教 山崎 尚也</p> <p>研究分担者 ○広島大学病院 輸血部 准教授 藤井 輝久 医科診療医 土石川 佳世 臨床検査技師 中十 奈苗</p> <p>○広島大学病院 診療支援部臨床検査部門 副部門長 野間 慎尋 主任 山岡 愛子 臨床検査技師 栗田 絵美 臨床検査技師 矢内 綾佳 臨床検査技師 小松 真由美 臨床検査技師 柏原 真由 臨床検査技師 小川 茂樹 臨床検査技師 北川 裕華 臨床検査技師 安井 歩美</p> <p>○放射線災害医療総合支援センター 特任助教 岡崎 裕介</p>
その他	ありません。本研究は広島大学の運営費交付金により実施され、開示すべき利益相反はありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究対象となる方またはその代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでに研究結果が公表されている場合には、データを結果から取り除くことができない場合があります。また、本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;">広島大学病院 輸血部 担当者：山崎 尚也</p> <p style="text-align: right;">〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5581</p>